

平成 17 年 2 月 10 日

各 位

会 社 名 新日鉱ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 清水康行
 コード番号 5 0 1 6
 問 合 せ 先 総務グループ(I R ・ 広報担当)
 シニアオフィサー 八牧暢行
 電 話 番 号 03-5573-5123

平成 17 年 3 月期連結業績予想の修正について

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16 年 11 月 11 日に公表した標記業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 17 年 3 月期連結業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 16 年 11 月 11 日発表)	2,405,000	105,000	32,000
今回修正予想(B)	2,467,000	135,000	48,000
増減額(B-A)	(○)62,000	(○)30,000	(○)16,000
増減率	2.6%	28.6%	50.0%

<修正の理由>

売上高は、石油セグメントにおける原油情勢を反映した製品価格の上昇および資源・金属セグメントにおける金属価格の上昇を主因として、増収となる見込みです。経常利益は、電子材料セグメントおよび金属加工セグメントの減販による減益はありますが、石油セグメントおよび資源・金属セグメントの大幅な増益により、300 億円増加の 1,350 億円となる見込みです。当期純利益は、固定資産除却損等による特別損失の増はありますものの、経常利益の増益等により、160 億円増加の 480 億円となる見込みです。

<セグメント別経常利益内訳(平成 17 年 3 月期連結業績予想)>

(単位:億円)

		前回	今回	差異	経常利益差異説明	15 年度実績
石油 セグメント	売上高	19,000	19,500	(○)500	石化損益の改善,在庫評価 益の増等	17,510
	経常利益	540	785	(○)245		360
資源・金属 セグメント	売上高	3,560	3,770	(○)210	持分法適用会社の増益,銅価 上昇,銅プレミアムの改善等	3,140
	経常利益	345	435	(○)90		138
電子材料 セグメント	売上高	970	900	(×)70	圧延銅箔の減販等	738
	経常利益	95	75	(×)20		26
金属加工 セグメント	売上高	580	560	(×)20	I T 関連向け箔・高機能材 製品の減販等	476
	経常利益	100	85	(×)15		73
その他 セグメント	売上高	410	410	-		662
	経常利益	30	30	-		7
消 去	売上高	470	470	-		380
計	売上高	24,050	24,670	(○)620		22,146
	経常利益	1,050	1,350	(○)300		537

<参考>前提条件（平成17年3月期連結業績予想）

		前回	今回	差異	15年度実績
(共通)	為替レート (円 / \$)	108	108	-	113
石油 セグメント	原油FOB (\$ / BBL) *	35.0	35.8	(+) 0.8	27.0
	パナシム市況 (\$ / t) ACPベース	873	886	(+) 13	641
資源・金属 セグメント	銅価 (¢ / lb)	127	134	(+) 7	93
	電気銅販売量 (千t / 期)	609	612	(+) 3	622
電子材料 セグメント	電解銅箔販売量 (t / 月)	2,778	2,431	(-) 347	2,375
	圧延銅箔販売量 (千m / 月)	3,976	3,352	(-) 624	3,097
	ITOターゲット販売量 (t / 月)	20.7	20.2	(-) 0.5	13.6
金属加工 セグメント	伸銅品生産品販売量 (千t / 期)	37	35	(-) 2	37
	特殊鋼生産品販売量 (千t / 期)	11	10	(-) 1	10
	高機能材比率 (%)	33%	29%	(-) 4%	22%

* 原油FOBは、ドバイスポットベース

以 上